

研究計画書

ゼミ名	森ゼミ II	チーム名	チーム Go to
タイトル	Go to について、徹底解説		
テーマ群	E) 産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>「研究背景」</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、全国に緊急事態宣言が発令された。その影響で観光需要の低迷や、外出自粛等の影響により、地域産業は甚大な被害を受けている。そんな日本の活気や街の賑わいを取り戻すため行われたのが『GOTO キャンペーン』だ。幅広い世代で「このキャンペーンを利用した」との声が上がっている。そんなキャンペーンが国内の観光需要にどれだけの影響を与えるのか。また、どのような人が影響を受けやすいのかを調査する。</p> <p>「研究内容」</p> <p>はじめに、GOTO トラベル・イートについて説明し、新型コロナウイルス感染症が流行する前と後で、国内旅行者数がどの程度変化したか調査する。また、新型コロナウイルス感染症がまだまだ終息しない中、このサービスについて、世間で賛否両論が分かれている。そこで、アンケートを用いて、GOTO トラベル・イートと新型コロナウイルス感染症への恐怖心との関係性や、このサービスへの賛否、知名度、普及度合いについても調査する。また、この調査結果として、GOTO トラベル・イートを積極的に利用する人の特性を割り出し、このサービスがより普及するよう私たちなりに考えたい。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>GOTO トラベル・イートの恩恵を享受している消費者は、新型コロナウイルスによって行動が変容したのかを調べる事によって、GOTO 事業とコロナへの恐怖心の度合いがどれほど関係あるのかを調べることが出来る。今回のアンケートを通じて、積極的に利用している人の特性を割り出す事が可能であれば、ターゲットを明確化したサービスを展開することにより、効果的に経済を回す事が期待できるのではないかと考える。</p>		